



2023年 PTA人権問題研修講座①

- ◆講師 山陽学園短期大学 名誉教授・臨床発達心理士
村中 由紀子 氏
- ◆タイトル 子どもと人権
～子どもの将来を見据えた教育の方向性～
- ◆日時 7月26日(水) 10時～12時
- ◆開催場所 南ふれあいセンター

【問題研①概要】

これまでの大学でのご経験や臨床発達心理士として関わられた事例などをもとに、たくさんの方の具体例を挙げながらお話してくださいました。そして、子育てに正解はなく、がんばれば成果があがるというものでもない。成功例の通りにしても必ずそのような結果が得られるとも限らないので大変難しく感じるが、まずは子どものありのままの姿を認め、気持ちの理解に努めることが大切ではないかと問いかけられました。

また、“どの人もほどほどの良いお母さんになれる。ただし、お母さんに温かい支援があれば”と仰っていました。日本は子育てが母親に偏っているため、社会環境の見直しが必要だとも話されていました。さらに母性という言葉も親性(おやせい)へと変わっていくのがよいと提言され、この“親性”には父親と母親だけではなく、子どもを取り巻く人たち全員が含まれ、地域社会全体で子どもの父親や母親をはじめとする子育てに関わる人をサポートしていくことが大切だということ学びました。



参加者の感想を紹介するワン♪

事例を含めながら、楽しいエピソードもあり、とても参考になった。

最近考える事が多かったので、子育てを難しく考えることはないと言われ、肩の力を抜いてみようと思った。
ほどよいお母さんになれるようにしたい。

愛着体験の大切さを感じた。周りの支援あってのすいなおしや修正が可能であることに希望がもてた。

来年度の参加、お待ちしております!



2023年 PTA人権問題研修講座②

- ◆講師 株式会社Compallet
代表 桐野 志摩美 氏
- ◆タイトル インターネットと人権
～大人に知ってもらいたいネットの世界～
- ◆日時 7月31日(月)10時～12時
- ◆開催場所 南ふれあいセンター

【問題研②概要】

ネット社会にひそむ問題から子どもを守るために、現状を学び、SNSに関して子どもとどのように関わるとよいのかを一緒に考える講演でした。

子育てをしていく上で、インターネットとの付き合い方に悩んでいる保護者の方も多いのではないでしょうか。講師からは「ネットとの付き合い方に正解はない」というお話がありました。だからこそ、子どもたち自身に考えさせることが大切になります。写真を撮るとき、それをネットに載せるとき、その両方に許可がいること。そして、嫌だったら断っても良いことも併せて伝えておくことが大切だと学びました。参加者から今回の講演を子どもたちにも聞かせたいという声もたくさんいただきました。大人も改めてネットとの付き合い方を見直す機会となる講演でした。



参加者の感想を紹介するワン♪

映像もあり、とてもわかりやすかったです。
被害者にも加害者にもならないためにSNSの使いかたを子どもと一緒に考えたいと思いました。

スマホやネットに限らず、自分の思いや気持ちを伝えることの大切さ、(親が正解を全て教えるのではなく)子ども自身に考えさせることの重要性を学びました。今後の子育てに活かしていきたいと思います。

迷惑動画などの影響で、ゆがんだ思い込みがあるような気がします。一步引いて現実を見るようにしたいと思いました。拡散については今一度気を付けないといけないと思いました。

来年度の参加、お待ちしております!



2023年 PTA人権問題研修講座③

- ◆講師 岡山中央病院 ウィメンズメディカルセンター
推進室室長 富岡 美佳 氏
- ◆タイトル 自他の性の尊重
～子どもたちの生きる力を育むために～
- ◆日時 8月3日(木)10時～12時
- ◆開催場所 南ふれあいセンター

【問題研③概要】

幸せな未来を拓く力を子どもたちが身に付けるために、私たち大人ができること、家庭でできることを考えることができた講演でした。

富岡先生は包括的性教育(身体や生殖の仕組みだけでなく、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等、幸福など幅広いテーマを含む教育のこと)の重要性について様々な場で講演されています。学校でも講演されており、命の重さ・大切さを子どもたちにも伝えていきます。その中で挙がった「性」に対する子どもたちの声も紹介してくださいました。「セクシュアリティ(性)」を自分で決められる権利があること、子どもは一人の人格をもつ存在であり、親と子であってもそれを忘れてはいけないことを改めて確認できました。また、お話から複雑な社会を生きる子どもたちへの接し方のヒントも得られたのではないかと思います。



参加者の感想を紹介するワン♪

性についての説明を家庭でどうすればよいか悩んでいたのが話が聞いて良かったです。「性」というもののイメージが変わりました。

子どもと話す機会を持とうと思います。

小さい時の関わり方や愛着形成が発達段階には重要だと感じました。成長の発達課題を一つずつ獲得することによって性についても理解していくことが重要だと思いました。その人らしさを大切にすることも子育てには大切だと思いました。

子どもの人権の根本に「性」が関わっている事が理解できました。アドバイスの仕方もわかり、とても良い時間になりました。

来年度の参加、お待ちしております!



2023年 PTA人権問題研修講座④

- ◆講師 プラウド岡山(当事者支援団体)
鈴木 富美子 氏 八田 凜子 氏
- ◆タイトル 多様な性を知ろう
～多様な性を知ろう～
- ◆日時 8月17日(木)10時～12時
- ◆開催場所 南ふれあいセンター

【問題研④概要】

LGBTなどの基本的な知識だけでなく、社会や学校の現状や自分自身の性のあり方についても理解する機会になった講演でした。

当事者の方の悩みを想像することは容易ではありませんが、当事者に打ち明けられた時、学校や勤務先で差別的な発言に接した時など、具体的な事例を挙げながら話していただき、自分を振り返って考えることができました。

また、性のあり方は女と男の二つだけでなく多様だということも理解することができました。ひとの性のあり方「セクシュアリティ」は、「からだの性」「こころの性」「好きになる性」「性役割」など多くの物差しで表現されます。それぞれの要素は「女」「男」に二分できないグラデーションの一部であり、私たち一人ひとり違うということを知ることができました。決して他人事ではないことに気付かされました。



参加者の感想を紹介するワン!

LGBTについて全く理解できていなかったと思いました。知らないことが(人を傷つけてしまうことにもつながりかねず)一番こわいことなのだと感じました。

LGBT、性的マイノリティ当事者の方の話をお聴かせいただいたのが初めてだったので貴重な講演でした。性的マイノリティの方が求めているのは支援や励ましではなく受けとめる側の意識だということがわかりました。

子どもの中には深く考え辛い思いをしている子がたくさんいるということを知りました。改めて一人ひとりを大切に思い、差別的な言葉にも敏感でありたいと思います。

来年度の参加、お待ちしております!